



田尻町議会だより

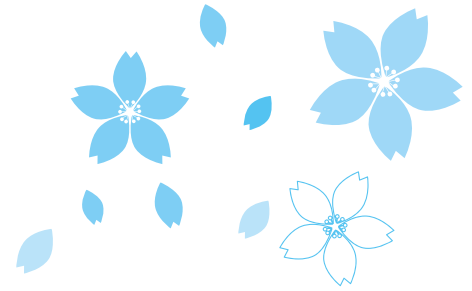
たじりの風

8267

Vol.95

平成25(2013)年
5月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 6 頁
- ★ 行政視察報告（総務建設常任委員会） 10 頁
- ★ この人にインタビュー 10 頁

一般質問

- 明貝 一平 議員 1. 町制60周年の意気込みと進捗を問う
- 大門 久恭 議員 1. 学校給食場前管理用通路の利用について問う
- 高木 謙治 議員 1. 関西国際センターとの交流で、小・中学生の国際化を
2. 介護予防で介護保険料の抑制を
3. 家庭の生ごみを活用し、ごみの減量化を
4. 職員の意識改革と専門的能力向上について
- 坂口 実 議員 1. いじめ・体罰に関する相談通報可能なホットラインの設置と周知を
2. いじめ・体罰の本町での有無は。防止対策や独自教育はしないのか
- 中川 達夫 議員 1. 田尻中学校でのクラブ活動の体罰等の現状は
2. いじめ問題について
- 小川 雄司 議員 1. 学童保育など子育て施設の拡充を
2. 65歳以上の高齢者への訪問調査活動の目標堅持を
3. 大幅黒字町財政を生かすために
4. 町営墓地の拡張を
- 吉開 育子 議員 1. 「迷惑空き家」対策を求める
2. 暴力行為から子どもたちの人権を守るため、地域ぐるみの講演会の開催を

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



明貝 一平 議員

問 町制60周年事業の進捗を問う

答 5月に式典、11月に事業を予定

問 町制施行60周年である本年は5月に記念式典、11月には町民による実行委員会が記念事業を予定し、可能な限り支援をすると施政方針に明記されている。町長はどのような意気込みで、どこまでの準備が進んでいるのかの報告をお願いする。

答 **秘書課長** 記念式典は5月25日土曜日の午前10時から、公民館大ホールで開催予定。内容については功労者表彰を中心にする。今後は選考委員や審査基準を決める作業に移る。

企画人権課長 町民による実行委員会が企画運営する記念事業は、11月3日に交流広場で実施予定。当初予算は200万円を計上した。それに職員の人的支援で記念

事業を支援していく。また、マスコットキャラクターを現在募集中で、記念事業でお披露目したいと考えている。

問 町長の意気込みは。

答 **町長** 60周年のテーマである「みんなで奏でる60年」に感銘を受けた。予算は少ないが出来る限りの支援をしていきたい。





大門 久恭 議員

問 学校給食場前の管理用通路の利用を

答 沿道住民との確約書があり難しい

問 平成15年・16年の2ヵ年で2億5000万円かけ下水道整備をした際に学校給食場前に管理用通路を作った。この通路は今年で10年経過しているが、カギ付きの扉をつけているので何も利用しないまま猫の遊び場になっている。駅下りの道路は通学時の交通量が多く、通学路としては危険性が高くなっている。子どもたちの安全を確保するため、この管理用通路を通学の時間帯だけでも使用してはどうか。また、吉見ノ里駅横の踏切拡幅工事の際にも利用してはどうか。

答 **上下水道課長** 公共下水道事業の浸水対策として雨水管を布設し、その付加価値として管理用通路と

した。表面管理については下水道施設管理用通路としてのみ使用し、第三者の使用及び通行はさせないという沿道住民の皆様との約束により事業を行うことができたという経緯がある。開放となると沿道住民の皆様のご理解が大前提となるので、施設管理者としては開放については難しいと考えている。



高木 謙治 議員

問 家庭の生ごみを活用し、ごみの減量化を

答 センター建設は難しい

問 循環型社会の構築や美しいまちづくりを行うためには、町民との協働で家庭系の生ごみの減量化と資源化を図る必要がある。これらを推進していくために、家庭の生ごみを再生資源として堆肥に変え、この堆肥で花の苗を生産するリサイクルフラワーセンターの建設を求める。

答 **生活環境課長** 本町におきましても、循環型社会の構築に向け、家庭系可燃ごみの有料化を始め、分別によるごみの減量化や再資源化に努めている。

リサイクルフラワーセンター建設には、土地の確保、施設建設費が必要であり、また運営、維持補修などに多額の費用も想定され、費用対効果を試算したところ、現状では、センター建設は難しい。現在行っている生ごみ処理機の補助制度の活用促進を始め、さらなる減量化の取り組みの検討について、今後も進めていきたいと考えている。

問 介護予防で介護保険料の抑制を

答 具体的方法を検討

問 本町は、平成28年に、65歳以上の高齢化率が22.5%のピークを迎えるとされている。今後、介護保険料が引き上げられることが十分に予想され、町独自の介護予防事業で、保険料の抑制を求める。

答 **福祉課長** 要介護になるおそれの高齢者の方、また2次予防事業対象者を対象にして、運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上の介護予防教室を実施したが、参加者も少なく、効果も十分に上がっていない。今年度より、人生大漁（体良）講座を始め、実践に向けた講座を開催し、終了後には自主サークルへの移行やボランティア化を図るなど、活動の継続性を目指していく。

講座や集会所等での出前講座を通じて、高齢者の方に介護予防事業へのより効果的な介護予防へと努めていきたい。

地域に合った介護予防については、具体的な方法を考えていくために地域住民、スタッフ及び学識経験者等を交えて、具体的方法を検討して行く。



坂口 実 議員

問 いじめ・体罰ホットラインの設置を

答 府教育センター「すこやか教育相談」を活用したい

問 滋賀県大津市の中学2年生がいじめを苦に自殺。大阪市立桜宮高校2年生が顧問の男性教諭から体罰を受け自殺。未成年者が自殺を選択する以前の防止策として、いじめ・体罰等を受けたり見たり聞いたりした住民は、相談通報できるホットラインの設置と周知を要望する。

答 **指導課長** 大阪府教育センター「すこやか教育相談」や、チャイルドライン支援センター「チャイルドラインはらっぱ」の専用ホットラインがあり、府内小中高支援学校の新生児にカードやリーフレットを配布し周知している。

教育委員会次長 国・府で基盤整備が構築されているので、本町独自で何かあれば検討するが、まずは既存の事業を活用する。



中川 達夫 議員

問 中学校での部活動の現状は

答 部活動を通じ、生徒指導面でも安定している

問 大阪市立桜宮高校において、体罰による自殺者が出て全国に波紋が広がり、大きな問題となった。スポーツ、武道は心技体を鍛えるものである。本町中学校の部活動での現状はどのようになっているのか。また顧問及び先生方の指導方針は。

答 **指導課長** 心技体を鍛えるということで先生方も指導していると認識はしており、それに加えて心の鍛錬や人間関係が部活動により生徒指導面でも大変安定している。中学校では先生が必ず見守ってかかわって指導をしている。

問 今回桜宮高校で体罰による自殺者が出たのは、試合

問 本町におけるいじめ・体罰の有無は。防止対策は

答 いじめは小学校1件、中学校4件
体罰は中学校1件調査中

問 本町におけるいじめ・体罰の有無と防止対策は。

答 **指導課長** 府教委よりいじめの状況調査依頼の結果、悪口や筆箱を壊すといったものが小学校1件、中学校4件ある。体罰の調査は、本年1月21日付、体罰処分のありなしの報告であり、ゼロと報告。その後から4月上旬までの調査依頼により、保護者や当該学校より報告を受けている。その実態把握のための調査をしている。防止対策は、小・中学校での生活アンケートの実施。いじめ対応マニュアルをもとに校内研修を徹底しておこなう。

教育長 保護者から中学校で体罰があったと聞いている。厳しく真摯に受け止めて、今調査を進めている。保護者の了解を得た上で可能な範囲で議会に報告する。

を重視するために体罰が頻繁に行われた様に思われる。各指導者により、よい方向に行くのか、悪い方向に行くのか指導者の方針や人格によるものと考え。本町中学校での部活動の方針はどのようになっているのか。

答 **指導課長** 各部活動の方針は詳しくは把握していないが、ただ威圧して指導するというような事は余り目にしたことはない。やはりふざけていると教師の厳しい声は飛ぶが、力で圧して子どもたちの統制をとることは、指導として行なわれていないととらえている。





小川 雄司 議員

問 公約実現へ幼保施設をどう見直すのか

答 早朝・延長の部屋を見直す

問 原町長の公約である「保育所待機児ゼロ、幼稚園3歳児受け入れ」実現について、昨年6月議会で「まだスペース的に余裕があると思うので、まず現施設を見直したい」と答弁した。昨年12月議会では、副町長が「現時点でどこかを示せと言うのは、非常に難しい」と答弁した。どこをどう見直すのか、再度たずねる。

答 **町長** どういうふうにすれば、待機児ゼロにできるのか、担当課長・保育所長とも話をした。2つある早朝・延長の部屋の1つを1歳児の部屋にし、1歳児の部屋を1つ増やした。部屋の転用の考えはあるが、保育士が確保できれば、増やす可能性はある。

問 吉見墓地の拡張を

答 平成26年度までに方針を決定する

問 本町墓地の現況は、嘉祥寺が1,145区画中38区画未使用、吉見が1,084区画全部使用済み、となっている。吉見墓地は、拡張が必要で隣接地権者の同意を得れば、拡張は可能と思われるがどうか。

答 **住民部長** 町長から拡張の指示があるが、地区別で振り分けていくのはいかなものか、総合的にとらえていきたい。その上にたつて、今後の拡張のあり方、区画のあり方を検討し、遅くとも平成26年度までに方針を決定したい。



吉開 育子 議員

問 「空き家」対策を求める

答 関係部局と速やかに対処する

問 全国で空き家の増加が問題になっている。本町でも吉見地区で1軒倒壊寸前の空き家がある。適切な管理がされないと、崩れて通行人にけがをさせたり放火されて火事になったりなど防犯・防災上の大問題を起こしかねない。

全国的には自治体が対策に動き出し、「空き家に関する条例」は50を超える自治体が導入済みといわれている。田尻町においても、空き家の実態調査をし対策に動き出すべき。

答 **総務課長** 住民の安全を守る上では、行政としても何らかの手立ては必要であると認識はしている。町の建築に関しては府の建築安全課に対応をやってもらっている。倒壊寸前の家を見つけたのであれば一報頂ければ関係部局と連携し速やかに対処する。

問 子どもの人権を守る学校にするための講演会を

答 学校教育でも町としてもやっていく

問 「体罰」は暴力行為であり、深刻な人権侵害で、あってはならない。学校教育法でも、子どもの権利条約でも「体罰」を禁止している。子どもたちの人権を守る学校にするために、教員、行政、保護者が広く集まり話し合う講演会の開催を求める。

答 **教育長** 子どもの権利条約に書かれている、子どもの命、平和、人権についてきちっと教師も学んでいかないといけない。権利条約をもう一度勉強しなおさなければならないと思っている。各学校園所あけて、PTA、教育講演会、人権講演会、いろんなもので広く発信していく取り組みを、学校教育でも町としてもやっていきたい。

委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 仁部 順行

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(3月8日開催)

◎田尻町附属機関条例制定の件

(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 本町の附属機関等の委員の重複に関する規定は明確になっているのか。

答 本町は田尻町附属機関の設置及び運営に関する指針を設けており、委員の重複の上限については、原則として3機関となっている。

◎田尻町道路の構造の技術的基準を定める条例制定の件

(条例の制定) 【全会一致で可決】

・「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図る法律」等により、道路法等が改正され、これまで法令で規定されていた道路の構造の一般的技術的基準を、各自治体の条例で定めることになったための条例制定である。

◎田尻町道路標識の寸法を定める条例制定の件

(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 道路の構造の技術的基準や道路標識の寸法については、岸和田市以南で統一しているとのことだが、岸和田市以北では違っているのか。

答 道路は連続性があることから、今回の基準等については、岸和田土木管内である岸和田市以南の担当者会議で協議したものであり、内容は国の基準に合わせている。また、岸和田市より北の自治体の状況については、現時点では情報を得ていない。

◎田尻町特定道路の構造に関する基準を定める条例制定の件

(条例の制定) 【全会一致で可決】

・「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」等により、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」等が改正され、これまで法令で規定されていた特定道路の構造に関する基準を、各自治体の条例で定めることになったための条例制定である。

◎田尻町事務分掌条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

・「泉州南消防組合」の設置に伴う所要の改正のための条例改正である。

◎職員の休日、休暇等に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

・半日休暇を取得する場合、午前が「3時間15分」、午

後が「4時間30分」と同じ半日休暇にもかかわらずその内容に差があったので、今回、半日という単位を廃止し、あわせて、文言の改正も行うものであるための条例改正である。

◎議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

・「地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律」の公布により、「障害者自立支援法」が改正されることに伴い、所要の改正を行うものであるための条例改正である。

◎田尻町一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 課長から課参事になった場合、現行と条例改正後とは、待遇の違いはどうか。

答 課参事については課長級であるので、管理職手当のみが下がることになる。この条例改正で想定しているのは、課長等が降格するケースであり、例えば、ある課長が主幹に降格した場合の待遇の違いを試算すると、現行では本俸が400円しか減額されないが、改正後では10,900円の減額となる。

◎田尻町手数料条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

・本年4月から火薬類、高圧ガス、液化石油ガス、いわゆる保安3法に関する許認可・検査等の事務が「泉州南消防組合」へ移譲されることに伴い、手数料の規定を削除する条例改正である。

◎田尻町公園条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 公民館横にあるハワイアンビレッジの浜公園については、風が強い時には砂塵が舞うので、これまでも住民から芝生化などの対策について要望があるが、今後管理していく上で、芝生化などの砂塵対策については、どのような考えをもっているのか。

答 現在、交流広場の多目的広場を芝生化しているので、浜公園やりんくう公園については、芝生化する予定はない。なお、砂塵対策としては、土を固めるにがりを撒いて対応している。

◎田尻町防災会議条例及び田尻町災害対策本部条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 2012年の5月に内閣府と総務省消防庁は地方防災会議への女性の登用推進を求める通知を都道府県の防災担当部局に送付しており、防災についても女性の視点が必要となってきている。本町の防災会議委員の組織構成からすると女性委員が選ばれるところがないように思うが、この点についてはどのように考えているのか。

答 ご指摘のとおり、現在はほとんどの委員があて職と

なっているが、今後委員の選定については、できる限り女性の登用を考えていきたい。

◎田尻町消防団員等公務災害補償条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

・「地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律」の公布により、「障害者自立支援法」が改正されることに伴い、所要の改正を行うものであるための条例改正である。

◎平成24年度田尻町一般会計補正予算(第5号)の件
(3,092万4千円の減額) 【全会一致で可決】

問 民間住宅耐震診断補助金が90,000円と民間住宅耐震改修補助金が1,200,000円減額補正されているが、平成24年度の実績はどうなっているのか。

答 平成24年度の実績としては、どちらも0件となっている。

問 この補助金の内訳はどうなっているのか。

答 耐震診断補助金は、国の補助が20,000円、大阪府の補助が12,500円、田尻町の補助が12,500円、合計すると45,000円の補助となっている。また、改修補助金は、国の補助が270,000円、大阪府の補助が165,000円、田尻町の補助が165,000円、合計すると600,000円の補助となっており、予算としては2件分を計上している。

◎平成24年度田尻町下水道事業特別会計補正予算(第2号)の件
(2,096万1千円の減額) 【全会一致で可決】

問 公債費の償還金利子及び割引料が738,000円減額しているが、これはどのような理由があるのか。

答 この予算は、一時借入金が必要となった場合のものであり、年度末にあたり精算し、減額したものである。

◎平成24年度田尻町水道事業会計補正予算(第2号)の件
(666万7千円の減額) 【全会一致で可決】

・主に水道事業費用の減額補正である。

文教厚生常任委員会

委員長 高木 謙 治

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(3月11日開催)

◎田尻町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例制定の件
(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 この条例で地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の入所定員を29人以下と定めていることから、本町では春日苑のみが指定対象の施設となってくる。今後高齢化が進んでいけば、このような施設がもっと必要になってくると思うが、現時点でこのような施設が新たに

開設されるような動きはないのか。

答 基本的に地域密着型は、各市町村単位で指定するため、本町のように8,000人程度の人口では新たに事業者が参入しても経営面で成り立つことが難しいと考えられるので、現在のところそのような動きはない。

◎田尻町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件
(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 この条例では夜間でも訪問看護するようにサービス事業の人員等に関する基準が定められているが、町内の特別養護老人ホームフィオーレ南海やグループホーム春日苑は夜間でも訪問看護ができる体制が整っているのか。

答 春日苑は認知症対応型の地域密着型サービス施設となっており、夜間対応型の施設は、町内にはない。

◎田尻町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定の件
(条例の制定) 【全会一致で可決】

・「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」等により、介護保険法等が改正され、これまで省令で規定されていた指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を地方公共団体の条例で定めることになったための条例制定である。

◎田尻町新型インフルエンザ等対策本部条例制定の件
(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 対策本部の構成メンバーについては、状況に応じて医師等を入れるとか柔軟な対応ができないのか。

答 対策本部の組織の構成については、一定法により決められているが、本部員以外に「必要があると認められるときは、国の職員その他当該市町村の職員以外の者を市町村対策本部の会議に出席させることができる。」との規定があるので、必要に応じて医師等も対策本部会議に出席させることができると認識している。

◎田尻町老人医療費の助成に関する条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

・「地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律」の公布により、「障害者自立支援法」が改正されることに伴い、所要の改正を行うものであるための条例改正である。

◎田尻町国民健康保険条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 今回の条例改正で延滞金にかかる規定を見直しているが、延滞金の実績についてはどうなっているのか。

委員会報告

答 国保の場合、保険料の支払が困難で分納されている方については、延滞金の減免対象となるので、現在のところ延滞金を徴収したことがない。

◎田尻町後期高齢者医療に関する条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 延滞金の実績については、どうなっているのか。

答 現在のところ延滞金を徴収したことがない。

◎田尻町介護保険条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

・介護保険料に係る延滞金及び督促手数料の取扱いについて、町税や国民健康保険料、後期高齢者医療保険料との統一・整合性を図るための条例改正である。

◎平成24年度田尻町一般会計補正予算(第5号)の件
(3,092万4千円の減額) 【全会一致で可決】

問 歳入の方では小学校就学援助費補助金が26,000円の増額、中学校就学援助費補助金も79,000円増額されているが、歳出の方では小学校費の要保護等児童就学援助費が950,000円の減額、中学校費の要保護等生徒就学援助費も1,000,000円減額している。これはどのような理由があるのか。また、対象者の実績はどうなっているのか。

答 歳入の就学援助費補助金については、実績に基づく国庫補助金の交付決定額に伴う増額となっている。また、歳出の小学校費の要保護等児童就学援助費の減額については、対象人員が当初予算では92名を見込んでいたが、決算見込みとしては75名となる予定であり、中学校費の要保護等生徒就学援助費の減額についても、対象人員が当初予算では62名を見込んでいたが、決算見込みとしては52名程度になる予定であるためである。

◎平成24年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)の件
(1,007万8千円の減額) 【全会一致で可決】

問 今年度から実施した日曜健診の受診状況と、通常の集団検診及び医療機関での受診状況はどうなっているのか。

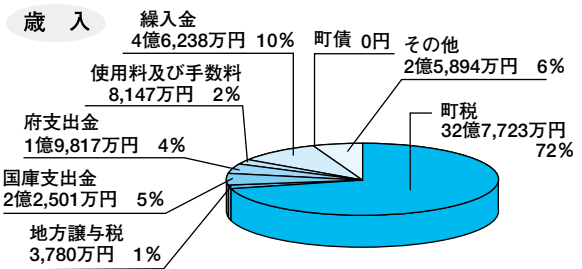
答 日曜健診については、昨年の11月18日に実施しており、その結果31名の方が受診され、内10名が昨年度未受診者の方であった。また、今年度の特定健診の受診状況については、ふれ愛センターで実施した集団検診による受診者は162名、医療機関での受診者は152名であり、合計314名となっている。

予算特別委員会

委員長 吉 開 育 子

予算特別委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(3月12・13日開催)

◎平成25年度田尻町一般会計予算の件
・45億4,100万円 【賛成8、反対1で可決】

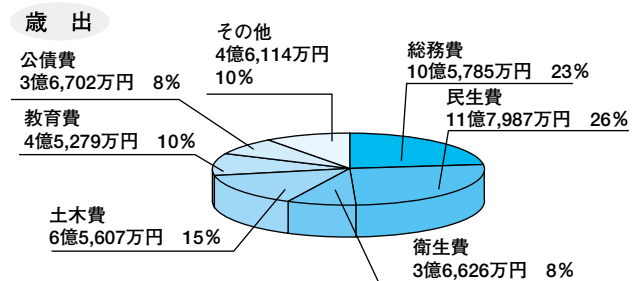


歳入

問 関空関連税収の推移と25年度はどのように見通しをしているのか。

答 固定資産税の部分で、前年度に比べ1億6,280万円の増となっている。この要因は、新たな2期島の土地と、LCCターミナルビルのターミナル部分を見込んだ上での増である。

今後の見通しとしては、2期島ないし1期島の土地の利用と建物の利用が進んでいくに当たり、課税をしたいと考えている。



歳出 議会費

問 議会費全般についてどのように考えているのか。

答 議員が研修や勉強をするというのは重要と考えている。現在の費用では、活動の上で不足が出てくることもあると思うので、議会の方で話し合い、こういうことをしたいという話があれば、予算要求時に考えられると思う。

総務費

問 安全対策として通学路をカラー舗装するのは何故か。

答 京都の亀岡での事故を受け、国から通学路の安全対策の通達があり、関係機関と対策を検討した。近年、泉佐野市や熊取町といった近隣市町でも学校の校区の路側帯に色をつけている動きがあり、またこの事業に対する補助もあるので、本町においても積極的にやっていくべきという判断のもとに予算計上をした。

この事業の効果は、カラー舗装することによって、運転者にその道路が子どもが通る場所、スクールゾーン、通学路という認識を持ってもらうというものである。

民生費

問 先日、他の市町村でアレルギーの児童が普通の食事を食べて亡くなったという事件があった。本町の給食業務委託では、そういう面の注意はどのようにしているのか。

答 対策として、通常の給食とアレルギー食とは、おぼんの色を変え、色によって間違わないようにしている。また、その後給食を運ぶ方や先生方が数回にわたりチェックをしている。

衛生費

問 25年4月から子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン

ン、小児用の肺炎球菌ワクチンが定期接種になったが、高齢者の肺炎球菌ワクチンも必要になってくると思う。近隣では、平成25年度から岸和田市が助成を導入していくが、町はどのように考えているのか。

答 予防接種を初めとした医療分野の施策を進める上で、安心して受けられるようにすることが重要であると考えている。また、市町村によると、肺炎球菌ワクチンの接種の助成制度の導入状況は、若干だが増加している傾向にあり、本町としては、高齢者成人の肺炎球菌ワクチンは定期接種の候補ワクチンであるため、国の動向を注視しながら、近隣市町、特に泉佐野市以南3市3町、そして地元医師会等の調整も含め、今後実施に向けて検討していきたい。

農林水産業費

問 漁業振興広場のトイレの改修工事は、どのような内容なのか。

答 主に床面の滑りどめ加工の工事と、汚れている壁の再塗装、そして、扉の下の方が大分傷んでいるので、その補修をする。このトイレも建設後10年たっているので、定期的に行う必要があり、床の方が滑りやすく、お客さんで倒られた方もいるので早くやりたい。

商工費

問 駅前商店街の街灯の工事代とあるが、どのようなことをするのか。

答 今回の工事では、駅前商店街の街路灯を水銀灯から電球型のLEDにするための取りかえ、回路の改修、そして電力会社への変更申請をする。工事費については、町が商店街施設維持管理補助交付規則で4分の3を補助するということになっているので、その額を計上している。

土木費

問 吉見ノ里駅の踏切拡幅について、駅舎を現位置にするのか、移動するのかによって総工事費用は大きく違ってくるが、どのように進めているのか。

答 踏切拡幅について、以前は踏切拡幅に伴って駅舎やホームの移転ということで協議をしていた。しかし、事業費があまりにも膨大となったために一時期休止し、改めて移動しない方向で協議をした結果、ある程度事業費を抑えることができた。まだ駅舎に一部かかってしまう可能性はあるが、できるだけ事業費を減らすために、基本的には駅舎やホームにはかけないという考えで進めていこうと思っている。

消防費

問 本町で液状化を起こすような箇所というのは、どういふところを想定しているのか。

答 液状化として想定されるのは、りんくうタウン、埋立地と考えている。

教育費

問 中学校費の使用料及び賃借料で、バス借上料51万円が出ているが、これは何のためのバス借り上げか。

答 校外学習用やスキー実習等のためのバス借り上げである。

反対討論 公約である3歳児幼稚園保育の実現や中学校の野球部の復活のための環境整備がまだであり、体罰に関する回答も不十分だったため、受け入れられない。

◎平成25年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算の件

・9億9,590万8千円 【全会一致で可決】

問 24年度のコンビニ収納での実績は。

答 ことしの1月現在で、全部で306世帯が納付書による納付方法で、そのうちの99世帯がコンビニ利用者である。率にすると32.4%の方がコンビニ利用者である。

◎平成25年度田尻町後期高齢者医療特別会計予算の件

・1億417万2千円 【全会一致で可決】

問 後期高齢者医療広域連合納付金の中で、一般財源が2,200万ほど入っているが、この計算根拠というのはどのように計算しているのか。

答 これは一般会計の繰入金等であり、一般財源ということで、その分を財源構成の振り分けとしている。

◎平成25年度田尻町介護保険特別会計予算の件

・6億2,517万2千円 【全会一致で可決】

問 包括支援事業について町内にはフィオーレ南海1社のみだが、1社に集中するに当たり指導や日々のチェック体制はどうなっているのか。

答 今現在、地域包括支援センター「花みずき」ということでフィオーレ南海に委託をしているが、こちらから年何回か会議をしており、毎月報告ももらっているのので、ある程度チェックできる。あとは必要に応じて、こちらの方から尋ねたり、火、木、金の昼からふれ愛センターの2階で窓口の方も開いているので、そのときに話をしたりして、日々連絡はとるようにはしている。

◎平成25年度田尻町下水道事業特別会計予算の件

・6億8,747万円 【全会一致で可決】

問 工事請負費として耐震対策工事3,800万円が出ているが、この内容はどのようなものか。

答 平成24年度に耐震対策の実施設計を行っており、建物において基準構造耐震指標という指標があるが、満たしていない箇所があるので、耐震壁の増設、壁をつくる工事を25年度に予定している。建築物は維持管理上、日常作業をする操作室や電気室があり、委託業者もいるので、人命の点でも優先度が高いので、25年度、26年度の2カ年かけて耐震補強工事を行う。

◎平成25年度田尻町水道事業会計予算の件

・2億5,515万8千円 【全会一致で可決】

問 営業収益で、前年の当初予算より今年の当初予算が、1,810万円の増と説明があったが、本町の水道事業が改善につながっていると判断していいか。

答 警察学校開校により水道料金については1,980万円の増加を見込んでいるが、それに伴い水道事業費用、営業費用、受水費、と買うお金も1,053万円の増加となっている。入については、若干の改善は見込めるが、資本的収支については恒常的な赤字、旧街道の更新工事、浄水場の電気設備の更新等を行わなければならないので、なかなか経営的には難しいと考えている。

総務建設常任委員会行政視察報告

本委員会は、平成25年1月24日、25日の2日間の日程で、東京都の全国町村議員会館と静岡県沼津市を視察した。

町村議員会館では、今回の地方自治法の一部を改正する法律について、おもに通年議会制度の留意点等を調査した。結果、通年の会期制度を導入した場合（通年の会期とは、条例で定める日から翌年の当該日の前日までを会期とする。）議会を招集するいとまがないための、随意契約での専決処分等が無くなり、また、住民からの請願や陳情等があれば、直ぐに議会を開くことも出来る。しかし本会議、委員会等では会期が切れ日なく連続することになり、採決及び委員会に付託された案件が継続審査になる恐れがあることから、慎重に審議して行く必要があると思った。

沼津市では、東日本大震災が起こる十数年も前から地震、津波対策を進めていた。

東海地震等の発生後、沼津市の沿岸部には、約5～10分で津波が襲来するため、ためらわずに逃げるのが身を守るための最善策となっている。沼津市地震、津波対策マニュアルでは、①地震から身を守るために一揺れからの安全確保。②津波から身を守るために「少しでも早く、少しでも高く」避難。③地震、津波発生後の対応一自助、共助、公助の考えのもと、みんなで助け合いの心を持とう。のソフト面と、ハード面では、津波避難タワーの設置、避難路の整備、太陽光発電照明、避難路表示看板及び津波ハザードマップ、地震、津波対策マニュアルを市内全戸に配布して、あらゆる場面を想定して減災に取り組んでいる。本町も町民の皆さんの命を守るために早急に対策することが重要である。

委員長 仁 部 順 行

この人にインタビュー

社会福祉法人 田尻町社会福祉協議会
田尻町シルバー人材センター
会長 片岡啓子さん (63)

Q この度は重責の会長となり、抱負などありますか？

A 会長なんて予想もしてなかったし、不安いっぱいです。これから頑張って勉強します。

Q 同時に田尻町シルバー人材センターの会長でもありませんね？

A シルバー人材センターも1つの団体として、生きがいづくりが出来るようにしていきたいです。

Q 社会福祉協議会に関わったキッカケは？

A 15年前に民生児童委員をさせて頂いた時からです。そこからボランティア連絡会会長や食生活改善推進協議会会長、最近ではコミュニティサロン「チョボラッタ」のオープンに関わりました。

Q そのチョボラッタの状況は？

A オープン2年半で利用者も増え、コミュニティサロンとして充実してきました。ボランティア連絡会の広報紙

「チョボラ」を見て、訪れてくれるのが嬉しいです。

Q ボランティアに関わってどんな田尻町になって欲しい？

A 住んで良かったと思えるように助け合いが出来る町、ボランティアが気軽に出来る町になればと思います。



写真中央が片岡会長

田尻議会の チョット教えて

Q 通学路の交通安全対策って何かしているの？

A 町長の施政方針より、子どもたちが安全に通学できるよう、小学校周辺道路の路側帯をカラー化する整備を今年度に行います。これにより、運転する方々にも「学校周辺である」「子どもが多い」ということを注意喚起することができると考えております。

編集後記

風薫る新緑の季節となりましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

また、平素より町議会に対し暖かいご支援をいただき、本当にありがとうございます。

本号をもちまして私たちは広報委員の任期を終えます。任期中においては、議会だよりをより多くの方々に読んでいただけるよう、改善に努めてまいりました。今後とも議員一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

議会だより広報 委員長 明貝 一平 副委員長 坂口 実
委員 吉開 育子 委員 東 小夜子
委員 高木 謙治